

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和5年度第1回子ども・子育て会議
開催日時	令和5年10月10日(火) 午後2時20分から午後3時00分
開催場所	市役所東館3階 災害対策室
出席者氏名	【委員】 古作委員、江原委員、鈴木委員、関口委員、丸橋委員、久保田委員、吉田委員、柳澤委員、上田委員、小暮委員、菊入委員、佐野委員、中西委員、森村委員、黒澤委員、荻原委員、田中委員、諏訪委員、西川委員、高橋委員 【市職員出席者】 田部井福祉こども部長、大森福祉こども部副部長、森村子育て支援課長、高橋係長、高橋主査、松原主任
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	(1) 子ども・子育て会議の概要について (2) 子ども・子育て支援事業計画の概要について (3) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について
会議資料の内容	資料1 子ども・子育て会議の概要 資料2 子ども・子育て支援事業計画について 資料3 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の概要について 資料4 ニーズ調査に係る意見報告書 資料5 子ども・子育て支援事業計画策定に向けた今後の予定について 別紙 ニーズ調査項目案

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>会議の経過は以下のとおり</p> <p>《 1. 開会 》 (事務局) 開会及び会議の出席者の報告</p> <p>《 2. 会長・副会長選出 》 (事務局) 互選の方法について意見はあるか。 (委員) 事務局一任の発言。 (事務局) 事務局案として、会長に東京福祉大学保育児童学部准教授の佐野委員、副会長に伊勢崎市区長会会長の中西委員を提案。 (委員) 承認の拍手 (事務局) 拍手多数により事務局案で決定したことを報告。 (会長) 挨拶 (副会長) 挨拶</p> <p>《 3. 議 事 》 (1) 子ども・子育て会議の概要について (事務局) 資料1について説明</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画の概要について (事務局) 資料2について説明</p> <p>(3) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について (事務局) 資料3から資料5及び資料に係る別紙の説明</p> <p>(委員) 意見報告書の提出は、メール、FAX、郵送、直接のいずれかでよいということか。</p> <p>(事務局) はい。</p> <p>(委員) 前回、前々回の回答率が6割程度とのことだが、当時もインターネットからの回答ができたのか。</p> <p>(事務局) インターネットからも回答できるようにするのは今回が初めてであり、今回の調査は前回調査より回答率が高くなる想定をしている。</p> <p>(委員) 重要な調査だが、回答率が少ないと感じるため、できるだけ多く回答を集められるような方法を考えてほしい。</p>
---------------------------	---

(会 長)

他のアンケート調査などと比較すると、この過去の回答率は高い方である。ただ、回答率をもっと上げられれば、よりよい調査になるので、この場で様々なご意見をいただきたい。

(委 員)

意見報告書について、メールでの提出も可能とのことだが、データでの提出もできるか。

(事務局)

可能。メールアドレスを教えていただければ、会議後に委員宛にデータで送付する。

(委 員)

対象者の抽出方法について、地区ごとや年齢に偏りないようにしているのか。

(事務局)

地区ごとの人口割合に準じた対象者の抽出を予定している。

(委 員)

過去の調査は結構な分量で大変だったという話を聞いている。今回インターネットからの回答もできるとのことであれば、保護者の負担を減らせるような工夫をしてほしい。

加えて、調査についてはあらかじめ調査があることを周知するなどして、回答率が上がるような検討をしてほしい。

(事務局)

検討する。

(会 長)

広報やホームページなどに「こういう調査があるので、選ばれた方は協力ください」等の事前周知を事務局の方でも検討してほしい。

(委 員)

周知方法について、4カ月の赤ちゃん訪問などで調査のお知らせをいれて周知することも可能かと思う。事前の周知につながると思うので、事務局と健康づくり課とで調整していただきたい。

(委 員)

インターネットを使用して回答させるのであれば、1000票に限定せず、調査をすればよいのではないか。

(事務局)

インターネットに掲載をすると、市外在住の方など対象でない方も回答できるようになってしまい、調査の信憑性に欠けてしまう。

今回の調査は無作為抽出で選ばれた対象者に対し、インターネットからの回答も可能ということで実施するものである。

(委員)

インターネットでの回答については、一時保存ができるなど、分割して回答ができるようにしてもらいたい。

(事務局)

検討する。

(会長)

インターネットでの調査は、いろいろなところで実施されているが、大勢の方から回答が集まる分、関係のない方の回答も集めてしまうなど、メリット、デメリットがある。

今回のニーズ調査にあたっては、現在予定している内容で実施することとし、ニーズ調査は5年に1回実施を予定している調査なので、次回の調査ではそういった部分も踏まえ検討できればよいと思う。

(委員)

周知について、広報などの紙媒体での周知もいいが、SNSでも実施していただきたい。SNSでも「調査があります」という発信ができるとよいと思う。

(会長)

子育て世帯はSNSを活用しているので、情報が入りやすい形を考えていければいいと思う。

《 4. その他 》

次回の会議は12月12日(火)午後2時から、場所は今回と同じ市役所東館3階災害対策室での開催を予定している。

なお、正式な開催通知は後日送付する。

《 5. 閉会 》